

桜の聖母短期大学

親と子の広場

小さなクラスの

さくらっこだより

火・金曜日

2015年5月号

爽やかな5月を迎えましたね。・・・と言いたいところですが、今年は4月から30度を越す暑さで、赤ちゃんたちも子育て中の親も早くも汗だくの生活だったのではないのでしょうか。しっかり食べて、睡眠時間も出来るだけ確保して、疲れを取りたいものです。

さて、4月はたくさんの新しい仲間を迎えました。本学の卒業生がお子さんを連れていらしてくれて、卒業生同士で思い出話に花が咲いたりしていました。また、道路沿いの掲示板を見て参加して下さる方もいらして、嬉しかったです。この広場で、出会い、つながり、みんなで子育て期間を充実させていきましょう。子どもが遊びに夢中になっていたら、お茶コーナーで

っと一息つきながらおしゃべりしたり、客観的に子どもの姿を見たりしてみてください。また違った姿に気付くかもしれませんよ。

子育ての悩みも気軽に話題に出してみてください。共感したり、新たな情



報を得たり出来ると思います。

新しいお友達

4月は、新しいお友達がたくさん来てくれました。0~1歳は成長が早くまた個人差もありますが、たくさん子ども達と過ごしていると、一人一人にその時期が必ず来ることが理解でき、焦らずに「今」を楽しめるようになります。

お母さんの歌に耳を傾けている子、春の風の心地よさを感じている子、欲しいものに手を伸ばしている子、行きたい所にテクテク歩いていく子、子ども達は、「今」を精一杯感じ、味わい、全身で「自分」を生きています。子どもの気持ちに寄り添うというのは、子どもの感じていることを共に感じる事。子どもの真剣さを感じると、その姿に感動してしまいます。

大人も真剣で誠実でありたいですね。



～4月の様子～



Sくんは、ママごとの木の皿を次々と放り投げています。よく見ていると、丸いお皿がぐわんぐわんと周り、その動きがだんだん小さくなって止まる様子をじっと見ているのです。その音もしっかり聞いています。これを何度も何度も試しているのです。木の性質、アルミの性質などをその動きや音などから感

じ取っているのでしょう。また、丸いものが転がる動きも不思議ですよ。こうして、何かを発見したり、発明したりして、将来はノーベル賞受賞！なんて、大人の夢は広がります。

子どものしていることをしっかり見ていないと「おもちゃを放り投げては駄目でしょ」なんて注意してしまいがちです。子どもは大事な実験中なのですから、そっと見守ってあげましょうね。

こちらは、音楽を身体で楽しんでいます。CDデッキも自由自在に使いこなし、「大きく」「小さく」と言いながら、ボリュームボタンを操作し、大人がどんな反応を示すか表情を伺っています。軽快な曲になると全身を揺らし、ニコニコ顔です。大人も一緒になって身体を揺らして楽しむと益々嬉しそう！一人で味わうより、一緒に味わってくれる人がいると嬉しさも増えます。共感するって大事ですね。静かな曲では、トライアングルを鳴らしています。曲のリズムをつかみ、合わせて鳴らしているのです。

ご家庭でも、様々なジャンルの音楽を流し、身近なもので音を出して楽しんでみてくださいね。「音楽は苦手」という学生も多く、悲しい現実です。苦手意識を感じさせることなく、「音楽を楽しめる」人生を歩んで欲しいものです。



今日は、ブロックに興味を持ったHくん。白い棒を見つけては「あった！」と井形の中心に差し込み、また上に井形を差し込む。見つける度に「あった！」「あった！」と言葉がたくさん出てきました。組み合わせたブロックが一面に広がり、大人たちは「すごーい！」と歓声をあげていました。本人は、何かを作

ろうとしていたわけではなく、同じブロックを見つけてはめていくのが楽しくて次々としていたら、こんなすごいことになってしまった…という感じだったのではないでしょうか。子どもが何を楽しんでいるのか、じっくり見ないとついつい一方的な大人の捉え方でコトを進めてしまうこと、ありますよね。みんなに「すごーい」と言われて、何のことやら…？という表情のHくん。

続けて参加のHくん。初日は、クーゲルバーンがお気に入り、何度も玉を上から転がして音を楽しんでいました。その様子を傍でずっと見守っていたお母さんは、他の遊びに誘うことなく、じっくりとHくんの遊びに付き合っていました。何十分集中していたでしょうか。子どもの集中時間について、本に書いてあったりしますが、その時間をはるかに越え、興味のあることに子どもは集中します。何度も試して納得するまで確かめる。「どうしてなんだろう？」と好奇心でいっぱい目。それにゆったり付き合えるお母さんも素敵ですね。2回目、3回目と参加を重ねる度に、Hくんの行動範囲は広がり、声も聞かれるようになり、好奇心旺盛な目は益々輝いてきました。今は、ペグをトングで挟んで入れ物に入れることの夢中！心ゆくまでやりたいことに取り組めるよう、時間と場所を保障してあげたいと思います。



絵本の力

2014年10月号でも書きましたが、ここでもう一度「絵本の力」を書きたくなりました。4月から、たくさんの絵本を置いておくようにしたら、子ども達が絵本をとって親御さんに差し出す姿が多く見られるようになりました。親御さんもその気持ちを汲んで読んであげています。自分でどんどん出してパラパラめくっている様子も見られます。その子なりの楽しみ方で十分です。

絵本には、大きな力があるってご存知でしたか？かわいいだけが絵本ではありません。

子どもは、大好きな人に絵本を読んでもらうことで、自分は愛されていると実感します。大好きな人に触れながら大好きな人の声で読んでもらうのが一番です。愛されていると実感できた子どもは、やる気に満ちてきます。つまり意欲が育つのです。

それから、絵本のストーリーの中に入って疑似体験をします。登場人物の気持ちに自分を重ねてみたり、体験を積み重ねることで、「こんな人になりたい！」と憧れを抱いたり、思考力や感性も育っていきます。そして、絵本の絵は、子どもが初めて出会う美術です。子どもは、絵を目で読み、耳からストーリーを聞き、絵本の世界を楽しみます。できるだけ良い絵本を選んであげたいものです。

字が読める年齢になっても、絵本は自分で読むものではなく、読んでもらうものです。10歳までは、絵本を読んであげましょう。本の面白さを知ると読書を始め、言葉も知識も増え、学校の成績もぐんぐん上昇間違いなしです！



ほっと一息 お茶タイム

4月から、お茶を飲めるコーナーを用意しました。子どもが「お母さんはだまってどこへも行かない。この部屋に居る」という安心感を持ち、遊びに夢中になっていたら、ほっと一息、お茶しませんか？お母さん同士おしゃべりしてもよし、スタッフと話してもよし、お誘い合って素敵な時間を過ごしてください。お茶はセルフサービスでお願いしますね。ここに座ると、子ども達の様子が良く見えます。少し離れて客観的にわが子を見るのも良いものです。



子どもの傍を離れるとき

子どもと一緒に遊んでいて、ちょっと傍を離れるとき、子どもに伝えてから離れていますか？子どもも、家庭以外の場所では緊張しています。安全基地のお母さんが急に居なくなってしまうと、大きな不安に襲われ、親も信用を失います。ちょっとだけ、一度だけ…と子どもから離れて不安にさせると、信用を取り戻すまで何日もかかってしまうこともあります。そして、「人は信じられない」ということを学習させてしまうのです。

「子どもを一人の人格として大切にすると、子どもも人を大切に、生涯良い人間関係が築けるようになります。親と子どもとの関係は、将来の友達関係・異性との関係・会社での上司と部下の関係など、あらゆる人間関係の原型として意味を持つようになります。

どんなに小さな赤ちゃんにでも「ママ、カバンからタオル取ってくるね。すぐ戻るから大丈夫だよ」と声を掛けてから行くようにしましょう。子どもはじっと顔を見て聞いています。人は信じて大丈夫だと基本的信頼感を持つのです。

私も子どもに「抱っこしていい？」と聞いてから抱くようにしています。相手が子どもでも、大人でも同じです。一人の人間として尊重し、本人の意思を大切にしたいと思います。

「奈々子に」 吉野 弘

唐突だが
お父さんは お前に
多くを期待しないだろう
ひとが
ほかからの期待に答えようとして
どんなに
自分を駄目にしてしまうか
お父さんは はっきり
知ってしまったから

お父さんが
お前にあげたいものは
健康と
自分を愛する心だ



「生まれてきてくれてありがとう」ただそれだけで幸せだったのに、子どもが成長すると共に親の期待は膨らんでいきます。思春期の学生と過ごしていて、親の期待に答えようと必死に頑張り続けてきて疲れ果ててしまった学生に出会います。頑張っても頑張っても親が満足してくれるところまで辿り着けない。いつまでたっても認めてもらえない。自分は駄目な人間だとまで思ってしまう。私たち親は、当然のことながら子どもの将来の幸せを願い、期待します。もっと、もっと…。「ぼくだって頑張っているんだよ」と子どもの寝顔が言っているように思えることがあります。子どもの個性や資質を尊重し、愛情を持って見守り、子どもの自尊感情を育みたいですね。

※自尊感情…自己存在に関する基本的な感情であり、自分を価値ある者であるととらえる肯定的な感情

<5月の予定>

1日(金) お休み
5日(火) こどもの日
8日(火) プレイルーム
12日(火) プレイルーム
15日(金) お休み
19日(火) お休み
22日(金) プレイルーム
26日(火) お休み
29日(金) プレイルーム

<6月の予定>

2日(火) プレイルーム
5日(金) プレイルーム
9日(火) プレイルーム
12日(金) お休み
16日(火) お休み
19日(金) お休み
23日(火) お休み
26日(金) プレイルーム
30日(火) プレイルーム

親と子の広場のご案内



	小さな“さくらっこ”	“さくらっこ”
日時	火・金曜日 10:30 ~ 12:00	土曜日 10:00~12:30
場所	プレイルーム	プレイルーム
年齢	0歳~就園前	0歳~小学生
参加料	無料	500円(親子一組)(各回) 兄弟(3歳以上)はプラス300円
登録料 (保険料)	子ども一人当たり 300円(年1回) ※おうちの方と一緒に参加してください	
持ち物	特にありません ※日常、お出掛けの時に持参する飲み物や着替えなど、 必要と思われるものを各自でご用意ください	
担当	桜の聖母短期大学 淋 光江 (土) 奥田美由紀(火)(金) こども保育コース教員 ※こども保育コースの学生も勉強のため参加します。	

桜の聖母短期大学 福島市花園町 3-6 ☎ 024-534-7137 (代表)